

**公共図書館における
健康・医療サービスの現状と
今後の展望：
全国アンケートの分析結果をもとに**

須賀千絵
慶應義塾大学文学部
非常勤講師

第100回
全国図書館大会
第21分科会健康情報
2014年11月1日
明治大学

報告の構成

1. 公共図書館でサービスを実施する意義
2. 調査の方法
3. 調査の結果
4. 普及にむけての提案

2

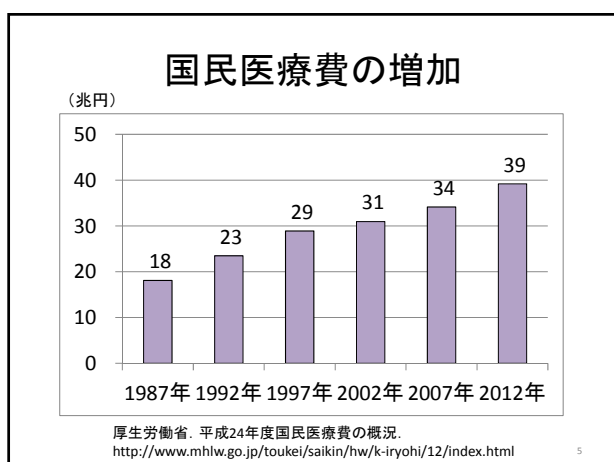
1. 公共図書館で サービスを実施する意義

3

行政の立場から

- 住民の健康を守ることは、国や自治体の基本的な役割
- 高齢化の進行
 - ➡ 医療を必要とする人の増加

4



市民の健康情報へのニーズ

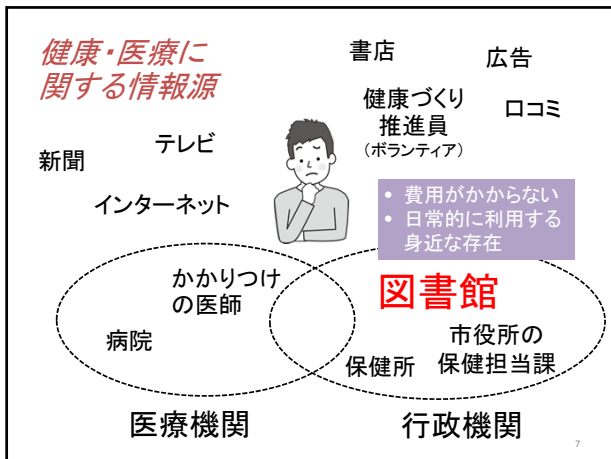
健康は日常的な関心事

- 治療の選択肢の増加
- 患者の自己決定権の重視

↓

**市民が自ら情報を探す
重要性増大**

6



“アレルギーは親が治す病気”。医師から
 そう言われ、成美さんは情報をかき集めた。
 「アレルギー」と書かれた図書館の本はず
 べて借りた。”

子に希望を:食物アレルギー1
 (患者を生きる no.2512).
 朝日新聞. 2014年6月3日

“だが、両親は腕を切ることへのためらいが
 残っていた。腕を切らずに済む方法はないか、
 書店や図書館を巡った。手に取った本に「がん
 の子供を守る会」の名前があった。

電話をすると相談にのってくれた医師は「腕
 を切らずに済む治療法もある。東京に出てこら
 れますか。医師を紹介します。」と言った。”

子に希望を:病院近くのわが家1
 (患者を生きる no.2494).
 朝日新聞. 2014年5月13日.

調査の目的

JLA健康情報委員会による2009年調査以降、調
 査が行われていない

- 現時点での全国の公共図書館における健
 康・医療情報サービスの実施状況を把握する

↓

- 普及に向けての課題に基づき、提案を行う

2. 調査の方法

- 調査期間: 2013年11月～2014年1月
- 手法: 質問紙調査
- 調査対象: 公立図書館を設置する
 全1,355自治体
- 日本図書館協会健康情報委員会,
 科学研究費基盤研究(B)「アクションリサーチによる
 公共図書館課題解決のデザイン」(研究代表者 慶應義塾大学
 田村俊作) 研究班の合同調査

3. 調査の結果

13

回収状況

	対象件数	回収件数	回収率
都道府県	47	46	97.9%
政令指定都市	20	19	95.0%
市	760	546	71.8%
町村	505	296	58.6%
特別区	23	21	91.3%
合計	1,355	928	68.5%

2014年2月4日現在
単位:自治体

14

都道府県立図書館と市町村立図書館のデータの扱い

- 健康・医療情報サービスは模索の段階
 - 他の分野と区別して扱う必要があるか
 - どんなサービスをすべきか など
- 両者の役割分担を論じる段階に至っていない



分析にあたっては、都道府県立図書館と市町村立図書館の区別はしない

15

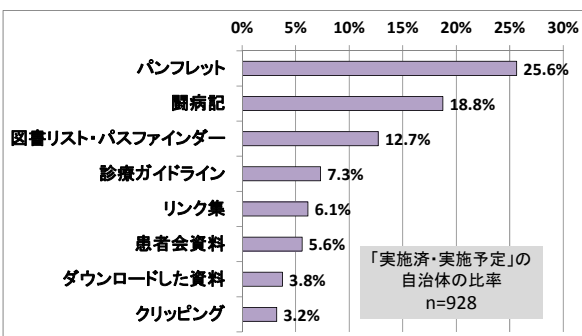
調査結果1

健康・医療情報分野で提供している資料及びサービス

(健康・医療情報サービスとしての提供かそうでないかは問わない)

16

健康・医療分野で提供している資料・情報



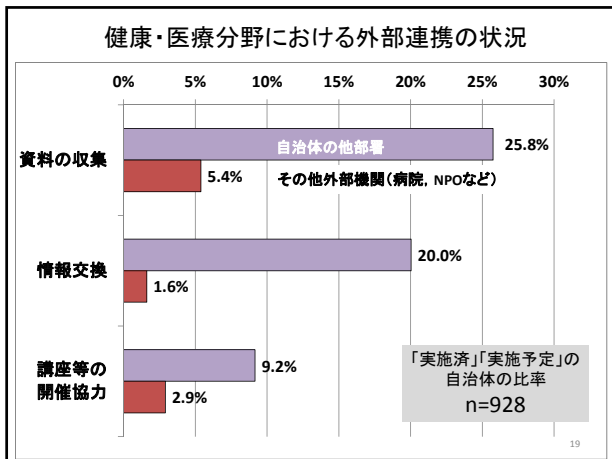
17

健康・医療分野で実施しているサービス

展示	コーナー	講演会・講座
25.8%	23.4%	11.3%

「実施済」「実施予定」の自治体の比率 n=928

18



調査結果2

「健康・医療情報サービス」の枠組みで提供されているサービス

健康・医療情報サービス実施の認識

一部の図書館では、「健康・医療情報サービス」などの名称をつけ、健康・医療に関連するサービスや事業をひとつのまとまりを持った形で展開している

↓

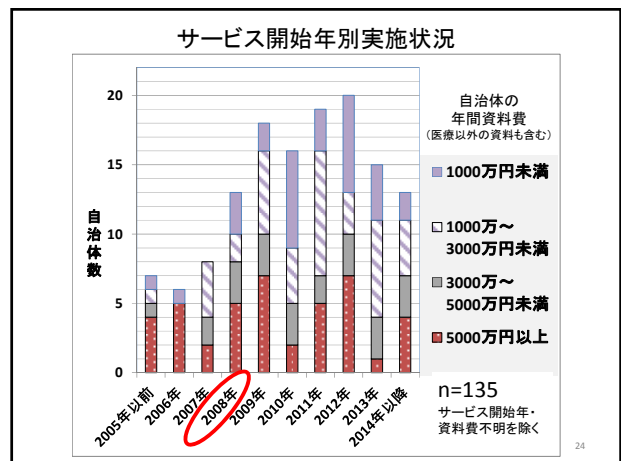
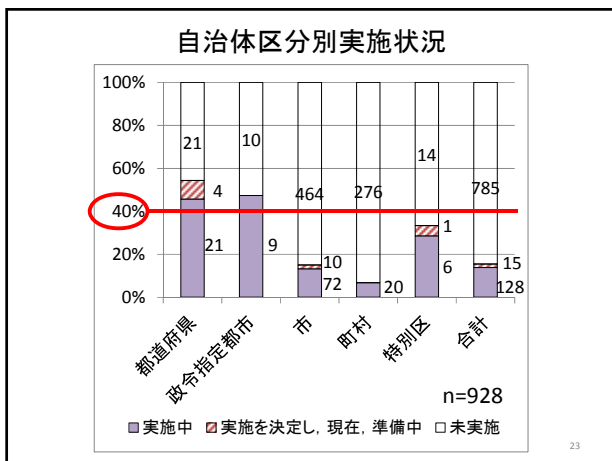
このような形で、健康・医療情報に関するサービスを実施していますか。

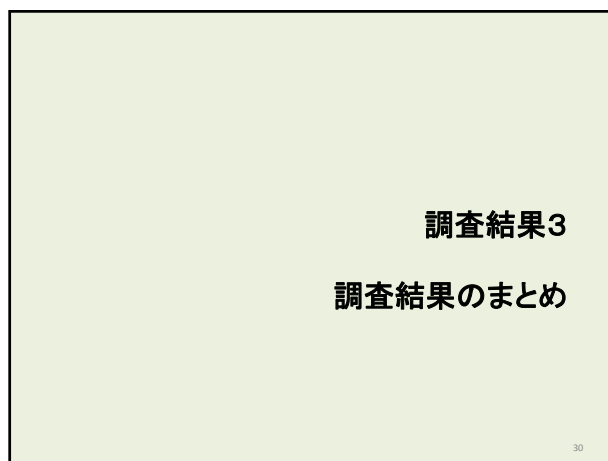
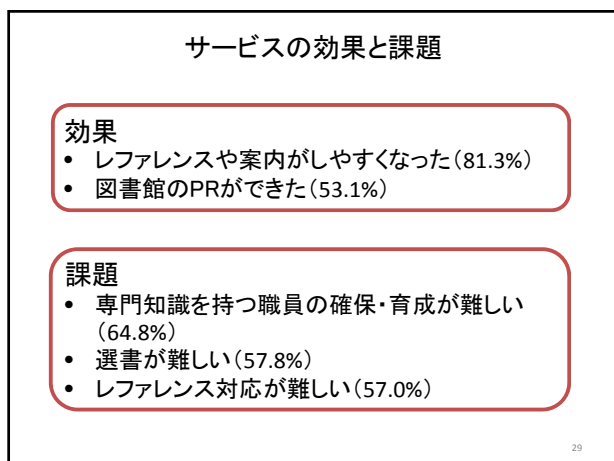
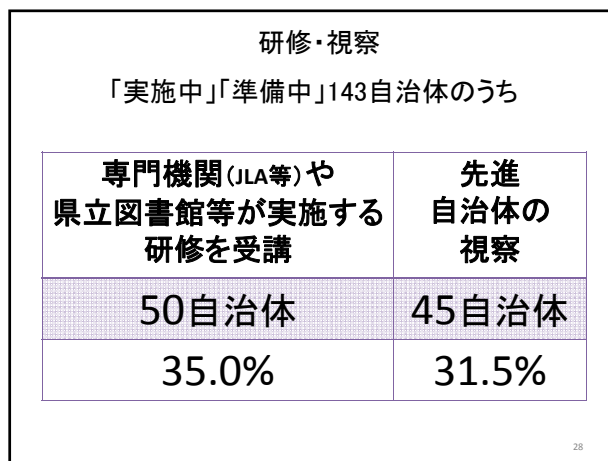
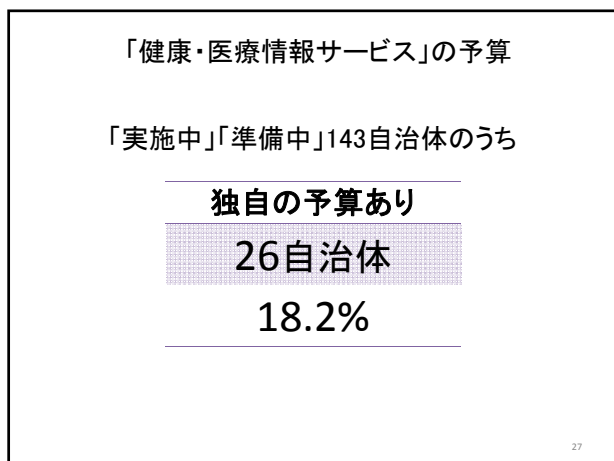
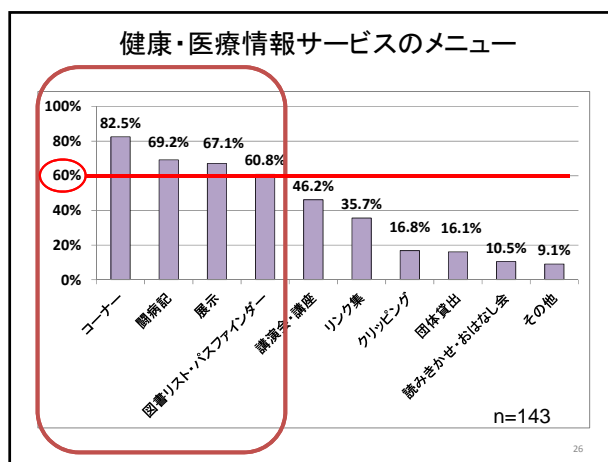
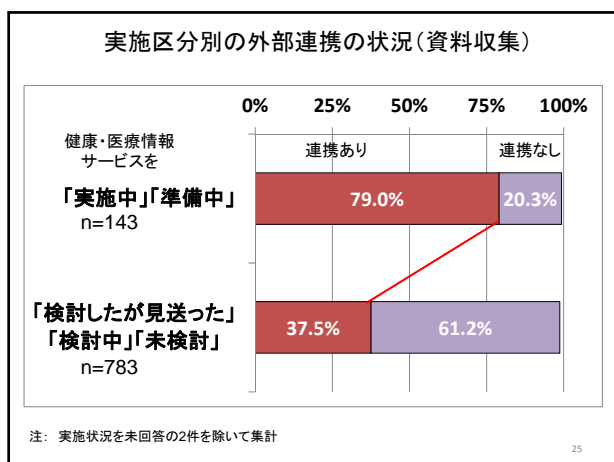
実施中 / 実施を決定し準備中 / 検討したが実施を見送った / 検討中 / 未検討

「健康・医療情報サービス」の実施状況

実施状況	回答件数	比率
実施中	128	13.8%
実施を決定し、現在、準備中	15	1.6%
検討したが実施を見送った	17	1.8%
実施するかどうか検討中	101	10.9%
未検討	665	71.7%
未回答	2	0.2%
合計	928	100.0%

コーナー設置 23.4%





まとめ 健康・医療分野で提供されている資料・情報

- **提供率が高い資料:**
パンフレットや闘病記などの印刷資料
- **提供率が低い資料:**
電子形態で流通する情報、専門性が高い資料、特殊な資料
- **編集を要する資料:**
図書リスト・パスファインダーは、ある程度普及
それ以外の資料の提供率は低い

31

まとめ 実施自治体の状況

- 「実施中」「実施を決定し準備中」合わせて
143自治体 (15.4%)
- **資料費の少ない自治体**にも普及しつつあるが、
小規模自治体による実施はまだ少ない
- 独自の予算を持つ自治体は2割以下
- 研修受講や視察の実施はそれぞれ3割強

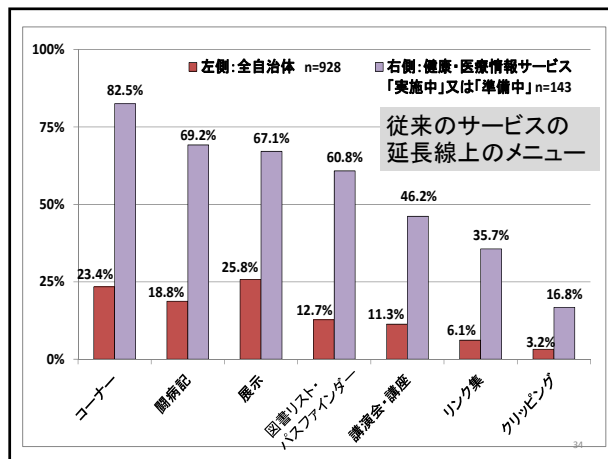
32

まとめ 健康・医療情報サービスの内容

中核的要素

- コーナー設置
- 闘病記の別置
- 展示の実施
- 図書リスト・パスファインダーの提供

33



4. 普及にむけての提案

35

提案1

有用かつ費用負担の少ない
「公共図書館型」
サービスメニューの開拓

- 医学図書館と同じサービスは困難
- むしろ公共図書館の強みを生かした
設計をすべき

36

**例えば、多彩な資料を持つ
強みを生かして…**

がんと仕事

静岡県立中央図書館所蔵の「がんと仕事」に関するリスト、インターネット情報等が掲載されています
<2013年11月作成>

『がんと一緒に働こう!』

《休職・休業の制度について》
『すぐに役立つ 労働時間・休日
休暇の法律と助成金申請手続き』

《解雇・退職のトラブルについて》
『「解雇・退職」対策ガイド』

特集展示「がんを知る展」(静岡県立図書館)
http://www.tosyokan.pref.shizuoka.jp/contents/info/2013/2013012_gan.html

37

提案2

専門知識の補完

- 受講しやすい研修の開拓, 普及
- 外部連携の推進

38

例えば…

日本医学図書館協会健康情報サービス
研修ワーキンググループ監修・編集

『やってみよう 図書館での
医療・健康情報サービス』
改訂版
日本医学図書館協会
2013年

知識を体系化した
実践的テキスト

石井保志
『闘病記文庫入門』
日本図書館協会
2011年

39

例えば…

病院から
講師を招き,
図書館で
講演会を開催

外部の
専門機関から
パンフレットを
推薦・提供して
もらう

40

**公共図書館員のための
医療情報サービス研修会 in 大阪**

日時：2015年 1月29日(木) 10時～17時30分
場所：豊中市立岡町図書館（大阪府）

主催：科学研究費基盤研究(B)「アクションリサーチによる
公共図書館課題解決のデザイン」研究班

講師：がん相談支援センター, 患者図書室,
公共図書館の職員ほか

テーマ：選書, 外部連携 ほか

皆さまのご参加を
お待ちしております

41

例えば…

外部の
健康フェア等
へ参加

- 資料の紹介
- 利用案内

健康関連の
イベントに
会場を提供

連携のきっかけに
図書館の広報に

42

